

事業概要

第7号

平成16年度



ドリアス

富山県中央植物園

目次

平成16年度 事業概要

目次	1
----------	---

I 庶務

1. 沿革	2
2. 整備概要	2
3. 利用案内	3
4. 組織	4
5. 招聘客員研究員	5
6. 講師等派遣	5
7. 委員等	5
8. 研修生等の受入	6
9. 視察研修等受入	6
10. 行政バス	7

VII 参考資料

1. 施設概要	23
2. 施設平面図	24
3. 整備事業費	25
4. 利用統計	26
5. 例規	28
6. 愛称とシンボルマーク	30

VIII 栽培記録

1. 初めて開花・結実した植物	31
-----------------------	----

II 植物管理事業

1. 収集植物現況	8
2. 新規導入植物	9
3. 分譲植物	11

III 教育普及事業

1. 催事記録	12
2. 印刷・出版	14
3. 新聞・雑誌等への寄稿	14
4. 新聞記事	15
4. 北陸中日新聞日曜連載	15
5. 取材対応	15
6. リファレンス（質問対応）状況	16

IV 資料収集事業

1. 標本資料現況	17
2. 文献資料現況	17
3. 植物画資料	18

V 調査研究事業

1. 研究体制	19
2. 研究課題	19
3. 平成16年度研究発表	19
4. 著書・論文・学会発表等	19

VI 友の会・ボランティアの活動

1. 事業	21
2. 部会の活動	21
3. 会員数	22

I 庶務

1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。平成14年9月10日には憩いの場や学習の場として多目的に利用可能なドリアスホールの建設に着工し、平成15年3月14日に完成した。

昭和58年 4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年 2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年 7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年 6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成 2年 3月	富山県中央植物園設計競技
平成 2年 8月	基本設計
平成 3年 5月	造成工事起工式
平成 5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成 7年 9月	建築工事定礎式
平成 8年 4月	全面開園(展示温室公開)
平成 8年 5月	中国科学院昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年 8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年 2月	雲南温室完成
平成12年10月	中国科学院昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年 4月	開園後の入園者50万人達成
平成14年 9月	ドリアスホール(多目的小ホール)着工
平成15年 3月	ドリアスホール完成

2. 整備概要

(1)所在地 富山県富山市婦中町上轡田42

(2)敷地面積 24.7 ha

(3)主要施設

①管理研修棟	1棟 1,310㎡
②展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟 2,713㎡
③栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟 1,077㎡
④サンライトホール・エネルギー棟	1棟 1,614㎡
⑤ドリアスホール	1棟 155㎡

(4)展示植物 約4,700種類、87,000本(株) ※種類数は重複分を除いた数

・屋外展示園	約1,954種類
・展示温室内	約1,245種類
・栽培温室・圃場	約3,100種類

(5) 整備期間および事業費

期間	整備内容	事業費	備考
平成元年～7年度	施設整備、植栽等	9,242	地域総合整備事業債 (ふるさとづくり事業)
平成10年～11年度	雲南温室	204	ふるさと環境整備事業
平成14年度	多目的小ホール(ドリアスホール)	40	木材産業経営革新公共施設 等整備事業

単位：百万円

3. 利用案内(平成16年4月1日現在)

(1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)

冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで

(2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合は開園)、および12月28日～1月4日

(3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人(高校生以上)	600円	480円
小人(小・中学生)	300円	240円

● 減免基準(全額免除)平成5年9月制定、平成14年3月28日改正

- ① 小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、養護学校の児童又は生徒が、日曜日、土曜日または祝日に入園するとき。
- ② 児童・生徒、引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ③ 児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ④ 身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤ 療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥ 精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑦ サクラ観賞日に入園するとき。

(4) 交通機関

● バス利用

- ・ 富山地鉄バス
- JR富山駅(12番乗場)発 29系統
- 萩の島循環線
- 中央植物園前停留所下車、徒歩約1分

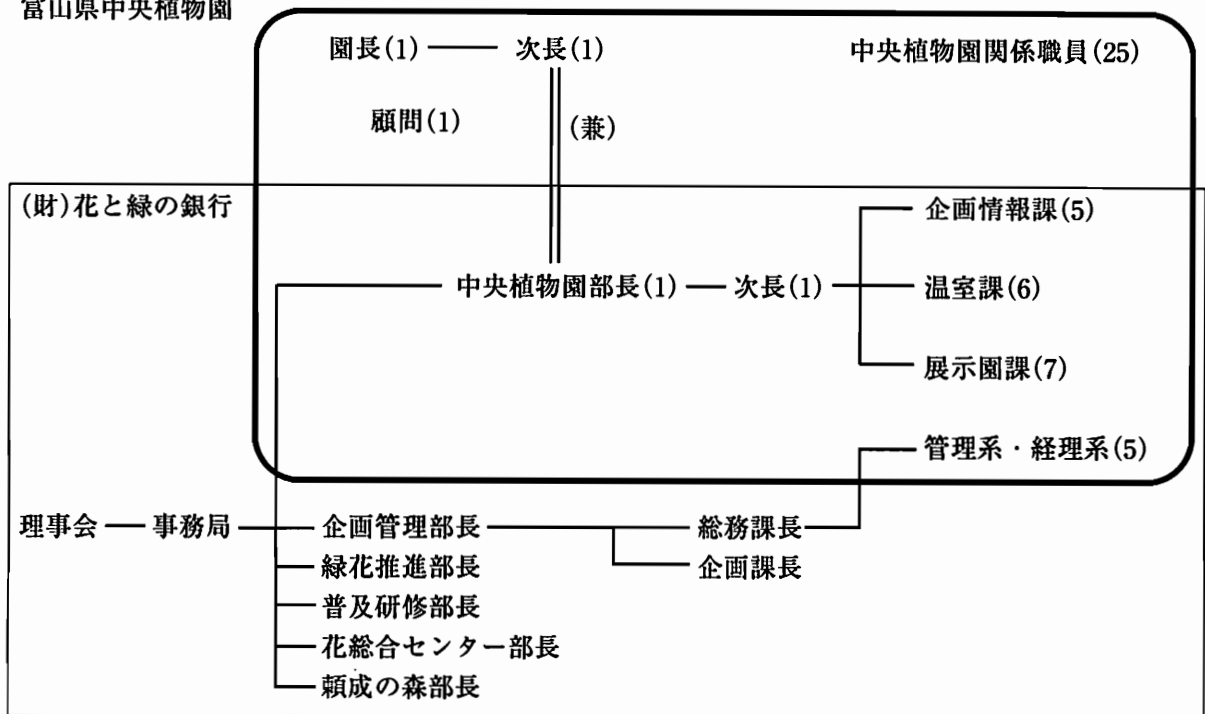
● 自動車利用

- ・ 富山市中心部より約15分
- ・ 北陸自動車道富山インターより
- 婦中大橋経由約15分
- ・ JR速星駅より約8分

4. 組織

(1) 組織図

富山県中央植物園



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	内村悦三
顧問	黒川 遼
次長	加藤治好

(財)花と緑の銀行 中央植物園部

部長(温室課長兼務)	加藤治好	県中央植物園次長
次長(展示園課長兼務)	三上正男	県派遣職員(主幹)
企画情報課 課長	中田政司	県派遣職員(副主任幹研究員)
主任	橋屋 誠	
主任	高橋一臣	
技師	志内利明	
技師	村家直樹	県派遣職員(技師)
温室課 主任研究員	神戸敏成	県派遣職員(主任研究員)
主任	吉田めぐみ	
主任	兼本 正	
主任	大原隆明	
業務技師	栗林信夫	
展示園課 主任研究員	大宮 徹	県派遣職員(主任研究員)
主任研究員	山下寿之	県派遣職員(主任研究員)
専門員	谷口松義	
専門員	大森 博	
業務技師	桐林浩二	
業務技師	浅野 豊	

(財)花と緑の銀行 企画管理部

総務課 主事	恒川利一
(一部) 嘱託	澤井光恵
嘱託	高井芳美
嘱託	坂井きよみ
嘱託	武田尚子

5. 平成16年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
中越信和	広島大学総合科学部・大学院国際協力研究科教授	景観生態学	16.11.24～25
山口弘文	大阪府立大学大学院農学生命科学研究科教授	生態保全学、民族植物学	16.12.1～2
岩科 司	(独)国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園主任研究官	植物色素	16.12.15～16

6. 平成16年度講師等派遣

年月日	氏名	内容	依頼者
16.4.27	内村悦三	植物と健康について	婦中町保険衛生協会(婦中町役場)
16.6.5	桐林浩二	庭木の手入れ(花木の剪定など)	富山県花総合センター
16.6.13	内村悦三	竹物語—竹が秘めているもの—	水見市海浜植物園
16.8.23	内村悦三	アグロフォレストリーについて	第13年次教員研修
16.9.4	内村悦三	地域を生かした環境林づくり	国土緑化推進機構・森林文化協会
16.10.6	中田政司	武生市万葉菊花園温室植栽の指導	武生市産業経済部
16.10.10	内村悦三	竹とアグロフォレストリー	国際協力機構(JICA)筑波国際センター
16.10.13-14	橋屋 誠	秋の恵みの集い	有峰森林文化村
16.10.17	橋屋 誠	キノコ観察と鑑賞会	県民公園頼成の森
16.10.19	内村悦三	竹産業の地域化は可能か	富山県農林水産部
16.10.23-24	橋屋 誠	きのこと観察会	朝日町立福井総合植物園
16.10.28	中田政司	武生市万葉菊花園温室植栽の指導	武生市産業経済部
16.11.6	浅野 豊	庭木の手入れ(剪定・雪囲いなど)	富山県花総合センター
16.11.18	内村悦三	科学の視点でタケを見る	富山県理科教育振興会
16.11.26	内村悦三	竹の利活用	広島市産業振興センター
16.11.28	中田政司	武生市万葉菊花園温室植栽の指導	武生市産業経済部
16.12.9	大原隆明	富山大学非常勤講師	富山大学長
17.3.20	内村悦三	竹と竹林の管理	富山市公園緑地課

7. 平成16年度委員等

期間	氏名	内容	依頼者
平成16年度	黒川 道	国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園運営委員会運営委員	独立行政法人国立科学博物館
平成16年度	黒川 道	(助)服部植物研究所評議員	(助)服部植物研究所
平成16年度	内村悦三	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成16年度	内村悦三	(社)日本植物園協会研究発表委員	(社)日本植物園協会
平成16年度	内村悦三	地球環境100人委員	地球環境関西フォーラム
平成16年度	内村悦三	途上地域混牧林経営推進確立調査事業委員	(社)海外林業コンサルタンツ協会
平成16年度	内村悦三	地域住民森林管理実証調査事業委員	(社)海外林業コンサルタンツ協会
平成16年度	内村悦三	竹資源活用フォーラム会長	竹資源活用フォーラム
平成16年度	内村悦三	竹文化振興協会常任理事	竹文化振興協会
平成16年度	内村悦三	京都竹文化振興財団理事	京都竹文化振興財団
平成16年度	内村悦三	日本竹協会副会長	日本竹協会
平成16年度	内村悦三	森林経営研究所理事	森林経営研究所
平成16年度	内村悦三	日本林業同友会技術参与	日本林業同友会
平成16年度	内村悦三	富山バイオセミナー等実行委員	富山バイオセミナー等実行委員会
平成16年度	内村悦三	花と緑の銀行理事	(助)花と緑の銀行
平成16年度	内村悦三	竹資源循環利用推進プログラム策定委員	竹資源循環利用推進プログラム 策定委員会(愛媛県)
平成16年度	内村悦三	Bamboo Journal 編集委員	竹文化振興協会
平成16年度	内村悦三	Journal of Bamboo and Rattan 編集委員	International Bamboo and Rattan(北京)

平成15年5月 ～17年3月	中田政司	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局
平成16年度	中田政司	植物地理・分類学会評議員・編集委員	植物地理・分類学会
平成13.6.20 ～事業終了まで	中田政司	富山市科学文化センター展示委員会委員	富山市教育委員会
平成16年度	山下寿之	植物版レッドリスト見直し業務富山県調査員	環境省
平成16年度	神戸敏成	絶滅危惧植物対策委員会	(社)日本植物園協会
平成17年1月	橋屋 誠	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局
平成16年度	兼本 正	植物地理・分類学会監査委員	植物地理・分類学会
平成15年5月 ～17年3月	大原隆明	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局
平成16年9月 ～17年3月	志内利明	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局

8. 平成16年度研修生等の受入

(1) 平成16年度博物館実習生

氏名	所属	期間
外山加奈	富山大学理学部生物学科	平成16.8.2～8.14
土屋真利子	富山大学理学部生物学科	平成16.8.2～8.14
牧田康平	富山大学理学部生物学科	平成16.8.2～8.14
大橋由弥	富山大学理学部生物学科	平成16.8.16～8.27
宮本恵里	富山大学理学部生物学科	平成16.8.16～8.27
曾我欽道	富山大学理学部生物学科	平成16.8.16～8.27
橋場典子	九州東海大学農学部応用植物学科	平成16.9.6～9.18

(2) 平成16年度 13年次教員研修会受講者 (平成16.8.23～25)

氏名	所属	氏名	所属
能澤陽子	三日市小学校	橘 恭幸	戸出中学校
柞山裕宣	高岡第一高校	森田徹也	にいかわ養護学校
藤井岳人	保内小学校	澁谷龍宏	伏木高校
老田晴美	歌の森小学校		

(3) 平成16年度「社会に学ぶ14才の挑戦」受入

期間	氏名	学校名
16.7.5～9	安川浩司	富山市立西部中学校
16.10.4～8	高橋泰斗	婦中町立速星中学校
16.10.4～8	佐伯香奈	婦中町立速星中学校

9. 平成16年度視察研修等受入

年月日	視察研修者	内容	人数
16.4.17	富山大学理学部生物学科オリエンテーション	施設見学	57
4.20	栃木県生産振興課	施設見学	6
4.26	呉東図書館協会職員	施設見学	35
15.25	新潟市自然ゆたかな鳥屋野潟とまちづくりを進める会	施設見学	2
6.12	北陸ブロック改良普及職員協議会	視察見学	23
6.14	滑川市・中新川郡ブロック小学校教育研究会	施設見学	20
6.22	富山国際職藝学院	視察研修	65
6.29	糸魚川市花いっぱいの会	視察見学	35
7.2	富山市桜谷校下婦人会	施設見学	22

7.6	射水郡公民館連絡協議会	視察研修	35
7.16	栃木県農業振興公社	視察研修	3
7.17	JA入善町女性部	施設見学	13
7.21	花と緑の銀行新任頭取・グリーンキーパー	視察研修	155
7.24	遼寧省職員	施設見学	14
8.3	女性セミナー受講者	施設見学	15
8.24	平成16年度環境教育講座	研修	40
8.25	大島町集落営農連絡協議会	視察研修	31
9.2	新潟県山林種苗共同組合	視察見学	20
9.29	農林水産部技術職員	視察研修	9
10.1	林野関係東日本ブロック会議	視察見学	81
10.6	富山県肥料協会	視察見学	20
10.6	花と緑の銀行下村支店	視察研修	7
10.15	平成16年度高等学校実験実技研修会	視察見学	15
10.15	黒部市老人クラブ連合会	視察研修	86
10.19	中国遼寧省教育視察団	視察見学	8
10.22	東海北陸7県議会事務局長会議	視察見学	11
10.21	富山県企画用地課	行政視察	3
11.12	富山市藤木新町福寿会	施設見学	30
11.29	富山国際職藝学院	施設見学	14
12.7	日本富山県中国雲南省友好協会	施設見学	6
12.21	国際・日本海政策課	視察見学	5
17.1.18	富山県消防学校	行政視察	3
3.14	高岡市戸出地区花と緑の推進協議会	視察見学	12

10. 平成16年度行政バス

(1) 県政バス

年月日	内容	人数
16.5.10	森林政策課・花の名所めぐり	41
5.12	都市計画課・街の緑・里の緑	13
5.14	森林政策課・花の名所めぐり	43
5.21	森林政策課・花の名所めぐり	26
5.28	森林政策課・とやまの植物園めぐり	41
6.2	森林政策課・木とのふれあい	21
6.19	広報課・Fコース	26
6.21	森林政策課・花の名所めぐり	38
6.23	森林政策課・花の名所めぐり	37
10.4	森林政策課・森林浴	12
10.8	森林政策課・花の名所めぐり	41
10.15	森林政策課・花の名所めぐり	43
10.23	広報課・Fコース	25
11.5	森林政策課・花の名所めぐり	43
11.8	森林政策課・花の名所めぐり	39
計15回バス15台		計489名

(2) 富山市民バス

年月日	内容	人数
16.6.8	柳町校区	44
6.22	太田校区	46
計2回バス2台		計90名

Ⅱ 植物管理事業

1. 収集植物現況（平成16年10月1日現在）

区 画	代表的な植物	種類数	個体数
展示温室		1,245	6,100
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、キョチク	450	1,500
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	238	2,200
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	183	1,300
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	289	900
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	85	200
屋外展示園		1,954	48,200
<u>世界の植物ゾーン</u>		1,160	24,400
ツツジ・シャクナゲ園	レンゲツツジ、西洋シャクナゲ	131	4,200
ボタン・シャクヤク園	中国ボタン、西洋シャクヤク	128	1,300
香りの植物	キンモクセイ、ラベンダー、バラ	86	700
繊維の植物	ワタ、コウゾ、ミツマタ	62	1,400
染めの植物	ベニバナ、アイ、コガネバナ	31	400
芝生広場	アメリカハナノキ、サルスベリ	45	2,000
サクラ・ウメ園	サクラ類、ウメ、モモ、カリン	110	1,800
花のプロムナード	ソメイヨシノ、サトザクラ	33	1,200
クレマチス園	テッセン、クレマチス類	189	300
球根植物	原種チューリップ、ヒガンバナ	37	6,000
雲南の植物	ハンカチノキ、シナユリノキ	116	400
北米の植物	ユリノキ、カシワバアジサイ	83	2,500
温室周辺	ワシントンヤシモドキ、ヤタイヤシ	81	1,800
話題の植物	ニガウリ、アーティチョーク	28	400
<u>日本の植物ゾーン</u>		1,114	23,800
シイ・カシの森	ヤブツバキ、スタジイ、タブノキ	180	900
クリ・コナラの森	クリ、クヌギ、コナラ、ガマズミ	348	2,600
ミズナラ・ブナの森	ブナ、ミズナラ、ユキツバキ	188	3,300
沼沢・溪谷の植物	ツリフネソウ、クロバナヒキオコシ	130	2,200
低地草原	オミナエシ、キキョウ	45	3,000
山地草原	ゼンテイカ、マツムシソウ	63	2,800
湿地の植物	ミズアオイ、アサザ、コウホネ	53	3,300
ロッケリー	フジアザミ、エッチェウミセバヤ	23	500
河原の植物	アキグミ、カワラケツメイ	22	1,000
海岸の植物	クロマツ、ハマナス、イソギク	62	4,200
管理区域		3,100	32,400
栽培温室、栽培圃場	雲南の植物、琉球列島の植物、系統保存	3,000	28,000
駐車場、入口広場他	チヨウキンレン、ベニバナトチノキ	100	4,400
園全体（種類数は各エリア間での重複を除いた数）		4,700	87,000

2. 平成16年度新規導入植物

(1) 個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物
16.4.9	越野淳一	クレマチス 30品種 37株
4.10	堀田 満	アマミカジカエデなど 56種 279株
5.12	千石芳夫	アマミエビネ 1種1株
6.7	鳴橋直弘	シマバライチゴ 1株、 <i>Rubus roylei</i> 2株
6.25	福野町園芸植物園	スプレーギク 20品種 44本
6.29	森本 誠	<i>Necheiropteris palmatopedata</i> 2株
6.29	中野 優	キイジョロウホトトギス 1種 3株、ヤマホトトギス 1種 2株
7.9	桐野秋豊	<i>Camellia impressinervis</i> 1株など 5種 6株
8.5	竹内 基	マメナシ 1種 1株
9.6	水谷高幸	トサカメオトラン 1株など 5種 5株
10.29	長谷川綾子	ダンドク 1種 1株
17.2.25	竹内 久	カワツザクラ 1種 3株
3.10	島田多喜子	イネ (斑入り) 1種 4株
3.21	祖川 博	ツバキ (初黄) 1種 1株

(2) 16年度植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
16.3.3	東京都夢の島熱帯植物館	シカクマメ (種子)
4.5	高知県立牧野植物園	スズムシバナ、サクラジマダイコンなど 3種 (種子)

(3) 種子交換による導入

年月日	植物園	導入植物
16.1.29	ベルベデーレ高山植物園 (オーストリア)	<i>Lonicera alpigena</i> など 8種
2.2	ベルリンーフンボルト大学植物園 (ドイツ)	<i>Veratrum album</i> など 4種
2.3	ブザンソン大学植物園 (フランス)	<i>Phyteuma orbiculare</i> など 4種
2.23	ゲーテ大学植物園 (ドイツ)	<i>Bupleurum ranunculoides</i> など 17種
3.2	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	<i>Cedrus libani</i> など 3種
3.23	ヌシャテル大学植物園 (スイス)	<i>Dianthus carthusianorum</i> など 2種
4.12	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	<i>Quercus pubescens</i> など 17種
5.12	ロシア科学アカデミー極東支部植物園 (ロシア)	<i>Dendranthema maximowiczii</i> など 16種
5.23	ロシア科学アカデミー ヤクーツク支部植物園 (ロシア)	<i>Leontopodium kurilense</i> など 8種
6.15	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	<i>Abies sachalinensis</i> など 18種
6.24	リヨン植物園 (フランス)	<i>Begonia falciloba</i> など 12種
7.20	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	<i>Eryngium maritimum</i> など 7種
8.15	アルタイ州立大学南東植物園 (ロシア)	<i>Dendranthema zawadskii</i> など 15種

(4) 自生地採集による導入

年月日	採集地	導入植物
16.4.22	富山県小矢部市埴生	ヒトリシズカ、スミレサイシンなど (苗) 計30種

(4)購入植物

年月日	購入先	購入植物
16.4.8	大井仙樹園	ヘゴ 1種 1株
4.9	大井仙樹園	カラテア・クレスタ 18種 80株
4.16	大井仙樹園	牛耳葉岩桐草 15種 81株
4.23	北山ナーセリー	アスコセンダ 7種 8株
5.26	北山ナーセリー	デンデロビウム 4種 4株
5.26	北山ナーセリー	テガタチドリ 5種 15株
5.27	北山ナーセリー	クルマユリ 3種 13株
6.8	北山ナーセリー	シンビディウム 2種 8株
6.14	つくも	ハクサンイチゲ 9種 22株
6.25	つくも	コキンレイカ 5種 8株
6.29	北山ナーセリー	ベゴニア 4種 25株
7.6	北山ナーセリー	シラヒゲソウ 1種 7株
7.13	北山ナーセリー	セイボティア 1種 3株
7.13	大井仙樹園	ダチュラ 6種 22株
7.21	北山ナーセリー	レンゲショウマ 1種 6株
7.29	大井仙樹園	ティランジア 3種 10株
8.9	北山ナーセリー	アンスリウム 4種 22株
8.20	つくも	キバナシャクナゲ 1種 2株
8.30	北山ナーセリー	熱帯スイレン 1種 1株
9.-	春草園	バイカオウレン 14種 64株
9.2	横山園芸	シクラメン・アルピヌム 13種 64株
9.9	北山ナーセリー	イワシャジン 1種 11株
9.13	北山ナーセリー	ミラクルフルーツ 4種 12株
9.15	北山ナーセリー	アスパラガス 6種 6株
9.15	つくも	エゾツガザクラ 10種 44株
9.20	つくも	エゾタカネヤナギ 8種 30株
9.27	北山ナーセリー	イワツツジ 3種 15株
9.29	北山ナーセリー	カトレヤ 1種 2株
9.29	大井仙樹園	カトレヤ 1種 7株
10.-	改良園	スイセン園芸品種 13種類 460株
10.-	改良園	スイレン「サルファ」 4種類 20株
10.-	改良園	スイセン「ドンカルロス」 16種類 235株
10.-	改良園	クルマユリ 9種 65株
10.1	アルム	ミュキソウ 15種 53株
10.5	北山ナーセリー	ネオレゲリア 1種 1株
10.6	つくも	チョウノスケソウ 3種 11株
10.18	つくも	ミヤマキンバイ 3種 11株
11.1	日本シャクナゲ	アズマシャクナゲ他 2種 60株
11.7	改良園	シラネアオイ 2種 7株
11.10	北山ナーセリー	イワヒゲ 3種 13株
11.23	改良園	アメリカミズバショウ 1種 5株
11.29	北山ナーセリー	キヌガサソウ 5種 25株
12.6	やまくさ	ミネウスユキソウ 29種 112株
12.8	つくも	クマガイソウ 2種 7株
12.9	北山ナーセリー	カトレヤ 1種 2株
12.16	大井仙樹園	カトレヤ 3種 11株
17.1.26	北山ナーセリー	セツブンソウ 4種 29株
2.23	北山ナーセリー	クリスマスローズ・オリエンタリス 3種類 9株
2.25	大井仙樹園	パフィオペディラム 3種 4株

2.25	北山ナーセリー	カトレヤ 3種 3株
2.25	北陸洋蘭園	カトレヤ 1種 5株
2.26	やまくさ	ハクサンコザクラ 31種 117株
3.3	改良園	プリムラ・ビアリー 6種 35株
3.16	北山ナーセリー	イワウチワ 4種 16株
3.22	宮川花園	茶碗ハス「八重」 3種類 12株
3.23	改良園	アカヤシオツツジ 5種 24株
3.28	平和園	ゼフィランサス・カリナタ 9種類 900球

3. 平成16年度分譲植物（植物体の部分を含む）

(1) 個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
16.6.7	鳴橋直弘	スグダチイチゴ	1株	研究用
7.8	福野町園芸植物園	古典菊	26品種 78本	寄贈
7.21	筑波大学	ヤマツツジ、サイカイヤマツツジ	若干	研究用

(2) 16年度植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物
16.4.5	安城産業文化公園デンパーク	ザーバオバブ（苗）
16.4.5	越前町立福井総合植物園	エッチュウミセバヤ、ミセバヤ（苗）
16.4.6	金沢大学薬学部附属薬用植物園	ノハナショウブ、エッチュウミセバヤ(苗)、タチバナ(種子)
16.4.6	広島市植物公園	タチバナ（種子）
16.4.6	城西大学薬学部	タチバナ（種子）、パンノキ、ザーバオバブ（苗）
16.7.13	北海道大学北方生物圏 フィールド科学センター植物園	パンノキ、ザーバオバブ（苗）

(3) 種子交換による分譲（平成16年度カタログ）

年月日	配付先	配付種子
17.8.5	ベルベデーレ高山植物園（オーストリア）	オキナグサ 1種
8.5	ゲーテ大学植物園（ドイツ）	ヨツバヒヨドリなど 3種
8.5	リヨン植物園（フランス）	シライトソウ 1種
8.5	ボゴール植物園（インドネシア）	シナサワグルミなど 2種
8.5	ラトビア国立樹木園（ラトビア）	トウカエデなど 7種
8.5	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園（ハンガリー）	ヤマハンノキなど 7種
8.9	コメンスキー大学植物園（スロバキア）	ジャケツイバラなど 2種
9.12	ラトビア大学植物園（ラトビア）	ニオイロウバイなど 3種

Ⅲ 教育普及事業

1. 平成16年度催事記録

(1) 特別開園

催事名称	開催日	開催時間	開催場所	入園者数
ソメイヨシノと夜桜観賞*	4月3(土)、4(日)	9:00~21:00	屋外展示園	11,533
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	6月30日(水)~7月1日(木)	19:00~21:30	サンライトホール	953
夜間開園「夜の温室植物」	8/14(土)~15(日)	19:00~21:30	展示温室	630

*は無料開園

(2) 企画展示

開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00~17:00（11月~1月は16:30まで）

催事名称	開催日	内容
企画展 「ポスターで巡る日本の桜」	4/2(金)~4/30(金)	全国的に有名な桜と桜の名所をポスターで紹介
特別展 「野生ラン展」	5/3(月)~5/5(水)	富山県蘭協会と共催で、ランの野生種と園芸品種を展示
地元愛好会 「さつき展」	6/4(金)~6/6(日)	地元の愛好会によるさつきを展示
「私の植物写真展」	6/25(金)~7/21(水)	植物園の講習会で撮影した植物写真と一般から募集した植物写真を展示
特別展 「食虫植物展」	7/23(金)~8/4(水)	ハエトリグサやウツボカズラなどのふしぎな食虫植物を紹介
特別展 「水草」	8/6(金)~9/8(水)	富山に野生する水草や観賞用の水草を展示
「友の会きのご部会写真展」	10/1(金)~11/3(水)	植物園友の会きのご部会会員が撮影したきのごの写真を展示
特別展 「園芸菊と野生菊」	11/5(金)~12/8(水)	園芸菊と野生菊の種類を実物と展示パネルで紹介
「干支にちなんだ植物展」	12/10(金)~1/19(水)	干支に関係のある植物を実物とパネルで紹介
「平成16年度研究発表展」	2/4(金)~2/23(水)	植物園で行っている研究活動と、中国雲南省での共同研究について紹介
「蘭まつり大会」	2/25(金)~2/27(日)	富山県蘭協会と共催で開催
「私の植物画展」	3/4(金)~3/30(水)	一般から募集した植物画の作品を展示

(3) 月例行事

● 植物園オリエンテーリング（7回）

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策（開催時間：10:30~12:30）

開催日：毎月第3日曜日

参加者数 約126名

（これ以外に17団体がオリエンテーリングを実施し、1,020名が参加した）

● 日曜植物案内（12回）

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員とボランティアが解説（開催時間：11:00~12:00）

開催日：毎月第1日曜日

参加者数 約180名

(4) 講座・講習・講演会

催事名称	講師等	開催日	開催場所	参加者数
野外観察会 「春咲く花」	中川定一 (氷見市文化財審議委員会委員)	4/11(日)	氷見市内	27
観察会 「ランの花のつくり」	職員	5/3(月)	実習室、 園内	15
県民カレッジ連携講座 第22回植物画講習会	豊田路子、岡田宗男 (フェアリーリングの会)	5/15(土) ～16(日)	研修室	56
植物写真教室 やさしい花の撮り方	前佛 勇、 富山県写真家協会会員	5/30(日)	研修室 園内	49
植物学講座 「ツツジとシャクナゲ」	倉重祐二 (新潟県立植物園副園長)	6/6(日)	研修室	40
講演会 「食虫植物の観察と栽培」	土井寛文 (兵庫県立フラワーセンター)	7/25(日)	研修室	37
親子デジカメ教室 「花を写そう」(親子対象)	富山県ITセンター	7/31(土)	園内、 富山県ITセンター	34
小学生植物ふしぎ教室	職員	8/2(月) ～4(水)	園内、 ドリアスホール	18
野外観察会 「庄川水系の水草」	職員	8/29(日)	庄川流域	10
トロピカルフルーツの観察と試食	職員	9/12(日)	研修室、 園内	34
県民カレッジ連携講座 第23回植物画講習会	豊田路子、岡田宗男 (フェアリーリングの会)	10/2(土) ～3(日)	研修室	52
どんぐりで遊ぼう	職員	10/24(日)	園内、 ドリアスホール	42
第12回 TOYAMA植物フォーラム 菊 ― 野生種から最新品種まで	谷口研至 (広島大学附属植物遺伝子保管実験施設講師) 中田政司 (富山県中央植物園) 柴田道夫 (花き研究所生理遺伝部長) 石崎 力 (福野町園芸植物園園長)	11/7(日)	研修室	70
県民カレッジ連携講座 植物染め講習会	足立紀美子 (女子美術大学講師)	11/14(土)	実習室	17
電子顕微鏡で植物を観察しよう	職員	1/16(日)	実習室、 電子顕微鏡室	10
デジカメ講座 「花を撮ろう」	富山県ITセンター	2/5(土)	園内、 富山県ITセンター	38
平成16年度研究発表会	職員	2/6(日)	研修室	45

(5) ドリアス講座

講義題目	回数
中国雲南省の珍しい植物	1
ランの花の秘密	2
富山の植物 ― 海岸から立山まで	6
温室で見られる有用植物	5
環境保全と植物園の役割	2
食虫植物の不思議	3
計	19

(6) 各種団体による教育活動対応

年月日	団体名	内容	人数
16.7.13	婦中町立鶴坂小学校3年生	総合的な学習での訪問、見学	102
10.13	滑川市立寺家小学校3年生	ドングリについての学習と工作	55
17.2.1	城山中学校1年生	総合的な学習での訪問、見学	3
2.22	(株)光地園	冬芽の見分け方	12

2. 平成16年度印刷・出版

(1) 「植物園だより」の発行

● 2004年4・5・6月号 (31号)

表紙 — ボタン (柄戸 清氏撮影) / 特集 - ボタンとシャクヤク / 活動報告 — 中央植物園の登録標本が1万点に、第14回花と緑の冬のフェスティバルサテライト会場 ラン展、企画展示 植物園を支える研究活動(8) / 話題の植物 - エスキナンツス・ラディカンス、ハンカチノキ / 研究紹介 - チョウキンレンの構造(1) (主任研究員 大宮 徹) / 日本植物研究の歴史 - その3 日本の植物を愛した男 シーボルト (主任 大原隆明) / これからが見ごろの植物 — ヨウシュオキナグサ、チューリップの野生種、クレマチス / イベント案内

● 2004年7・8・9月号 (32号)

表紙 — コツガザクラ (池田則章氏撮影) / 特集 — 特別展「食虫植物展」、特別展「水草」、夜間開園「夜の温室植物」 / 活動報告 — 企画展「ポスターで巡る日本の桜」、植物観察会「春咲く花」、第1回ドリラスコンサート「The Nature Voices演奏会」 / 話題の植物 - バニラ、ツキミソウ / 研究紹介 — チョウキンレンの構造(2) (主任研究員 大宮 徹) / 日本植物研究の歴史 — その3 マキシモヴィッチとチョウノスケソウ (主任 吉田めぐみ) / これからが見ごろの植物 — タペイノキロス、コオニユリ、ネムノキ / イベント案内

● 2004年10・11・12月号 (33号)

表紙 — マユミ (池田則章氏撮影) / 特集 - 友の会きのご部会写真展「森の妖精 きのこ」、どんぐりであそぼう、特別展「園芸菊と野生菊」 / 活動報告 - 植物学講座「ツツジとシャクナゲ」、夜間開園「ゲッカビジン観賞」、講演会「食虫植物の観察と栽培」、小学生植物ふしぎ教室 / 話題の植物 — 夜咲き熱帯スイレン、ガマズミの仲間 / 研究紹介 — 幻の花「センノウ」の復活と謎 (主任研究員 神戸敏成) / 日本植物研究の歴史 - その5 ‘草木の精’ 牧野富太郎 (技師 志内利明) / これからが見ごろの植物 — アメリカハナノキ、ユチャ、クロガネモチ / イベント案内

● 2005年1・2・3月号 (34号)

表紙 — ボケ (松本清徳氏撮影) / 特集 - 第33回富山県蘭まつり大会 / 話題の植物 - 黄花のシクラメン、ウメは咲いたか… / 活動報告 — 野外観察会「庄川水系の水草」、トロピカルフルーツの観察と試食、友の会きのご部会写真展、県民カレッジ連携講座「植物染め講習会」、特別展「園芸菊と野生菊」、第12回TOYAMA植物フォーラム「菊 — 野生種から最新品種まで」 / 研究紹介 — 富山県のフロラ調査 (主任 大原隆明) / 日本植物研究の歴史 - その6 植物の研究と植物園 (企画情報課長 中田政司) / これからが見ごろの植物 - シンビジウム、カトレヤ類、トウツバキ / イベント案内 / 私の植物画展作品募集のお知らせ

(2) 「事業概要」第6号 (平成15年度) (A4判・27頁、平成16年12月1日)

(3) 「富山県中央植物園散策ガイド ドリラスマップ」の発行 (A3判6っ折りリーフレット)

3. 平成16年度新聞・雑誌等への寄稿

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
16.4	まほら	植物の宝庫・中国雲南省に植物を求めて	神戸敏成
6	花と緑の銀行だより	花と緑を健康に役立てる	内村悦三
7	ぐりーんもあ	貴重な竹資源を活かす	内村悦三
10	Bamboo Voice	貴重なタケ資源を活かす	内村悦三
10	Bamboo Voice	熱帯マラリアの闘病と竹林	内村悦三
17.2	北陸中日新聞	富山博物学「スギ」	神戸敏成
2	農耕と園芸	中国雲南省の自生地に見る植物「 <i>Begonia cathayana</i> Hemsl. (中国名：中華秋海棠)と <i>Begonia versicolor</i> Irmsch. (中国名： 変色秋海棠)」	神戸敏成

4. 平成16年度新聞記事

年月	内容	件数
平成16.4	夜桜観賞、「富山さくらの名所」刊行、アーモンドの花開花、他	23
5	野生ラン展、パニラ初咲き、フジの花満開、ドリアスコンサート、他	25
6	キボタン開花、褐色のバナナ80本実る、スイレン見ごろ、他	12
7	月下美人観賞会、パイナップルリリー、他	14
8	エゾミソハギ47年ぶり確認、雲南省のベゴニア公開、水草展、他	20
9	世界最大級の竹「キョチク」、ミズトラノオ県内で初確認、他	16
10	十月桜満開、ノニの実がなる、キノコ食用か毒か判断、他	6
11	特別展「園芸菊と野生菊」、クチナシ結実見ごろ、他	15
12	薄黄色のシクラメン、干支にちなんだ植物展、他	15
平成17.1	艶やか寒ボタン、電子顕微鏡で植物観察、他	12
2	ホシザクラ新種認定、県立文化施設小中高生無料化、蘭まつり大会、他	26
3	紅色鮮やかトウツバキ、植物画展、シナマンサク満開、他	20

5. 平成16年度北陸中日新聞日曜連載「富山博物学」

掲載日	執筆者	記事
16.4.18	大原隆明	富山のサクラ野生種
5.2	中田政司	チューリップの仲間「アマナ」
5.16	吉田めぐみ	チョウノスケソウと園の愛称ドリアス
5.23	兼本 正	在来野菜
6.13	吉田めぐみ	ライチョウの生態と植物
6.27	橋屋 誠	キノコの女王キヌガサタケ
7.11	大宮 徹	チングルマの生態と年輪
7.25	中田政司	富山で見られる食虫植物
8.8	神戸敏成	幻の花「センノウ」
8.22	山下寿之	減少する水生植物
9.5	山下寿之	富山の照葉樹林
9.19	志内利明	溪流沿い植物「センボンギク」
10.3	橋屋 誠	妖しく光るツキヨタケ
10.24	中田政司	県固有種エッチュウミセバヤ
11.7	中田政司	サンインギクと遺伝的汚染
11.21	大原隆明	水田雑草
12.5	高橋一臣	来年の干支「とり」に因んだ植物
12.19	志内利明	欧州に渡ったアオキ
17.1.9	内村悦三	門松の植物学

1.23	高橋一臣	チマキザサとますの寿司
2.6	神戸敏成	花粉症と無花粉スギ
2.20	大宮 徹	ヤブツバキ (氷見の大椿)
3.6	橋屋 誠	フクジュソウと春植物
3.20	山下寿之	マンサクとかんじき

6. 平成16年度取材対応

- (1)新聞 24件
- (2)テレビ 31件 (番組出演 21回)
- (3)ラジオ 14件
- (4)雑誌等 3件

7. 平成16年度リファレンス (質問対応) 状況

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
総 数	140	243	334	493	624	715	780	815	769
質問方法別									
来園	65	84	118	179	258	268	301	376	364
電話	73	153	206	301	341	410	432	381	324
文書	2	6	9	13	25	37	47	58	81
質問内容別									
同定	73	79	129	181	275	330	320	379	400
(キノコ) *	(50)	(58)	(73)	(110)	(184)	(196)	(190)	(266)	(274)
園芸相談	25	73	103	159	178	208	217	186	188
その他	42	91	102	153	171	177	243	250	181
質問者業種別									
一般	127	202	266	420	528	606	676	693	680
マスコミ	11	35	59	55	67	72	74	77	48
植物関係者	2	6	9	18	29	37	30	45	41

*は同定依頼に来たものの内、キノコ関係の内訳。

IV 資料収集事業

1. 標本資料現況 (点数)

	平成3～15年度	平成16年度	点数	合計点数
購入標本	3,000		0	3,000
収集標本	26,630	職員採集県内産標本 植物園友の会植物誌部会調査会収集標本 その他	1,200 800 200	28,830
寄贈標本	11,269	古瀬延子 (タヌキノシヨクダイほか) 中村 安 (エゾノウワミズザクラほか) 木内静子 (カワヂシャほか) 松本雅人 (オクシモハギほか) 関原康子 (オクシモハギほか) 酒井初江 (ミズネコノオほか) 高橋政則 (ノカンゾウほか) 下野末佐美 (ケンボナシほか) 中川定一 (ウラジロほか) 早川 崇 (オクチョウジザクラほか) 久保宏子 (キンキマメザクラほか) 津田 登 (イヌスギナほか) 掛橋幹男・富子 (クサボケほか) 若杉孝生 (サトザクラ'の園芸品種) 荒川知代 (ホソバノツルリンドウほか) 武田 宏 (オクチョウジザクラほか) 粟島紀子 (ホソバノツルリンドウほか) 池川喜代治 (タチアザミほか) 上野達也 (シュウカイドウ) 太田道人 (ハンカチノキ) 高木末吉 (ムラサキナギナタガヤ) 高橋俊介 (ヤマザクラ) 津田 登 (ヤマトミクリ) 鳴橋直弘 (コシノヒガンザクラ) 西沢頼子 (セイバンモロコシ)	4,043 424 312 245 153 125 93 65 62 59 53 34 15 12 11 9 6 2 1 1 1 1 1 1 1 1	16,999
合計	40,899		7,930	48,829

2. 文献資料現況 (冊数)

(1) 単行本

		平成3～15年度	16年度	合計 (冊数)
購入	洋書	927	5	932
	中国書	354	6	360
	和書	869	3	872
交換寄贈	洋書	1,262	1	1,263
	中国書	297	0	297
	和書	3,848	45	3,893
合計		7,557	60	7,617

(2)雑誌

		平成3～15年度	16年度	合計（冊数）
購入	洋書	3,300	264	3,564
	中国書	713	58	771
	和書	2,643	223	2,866
交換寄贈	洋書	1,137	322	1,459
	中国書	130	13	143
	和書	2,400	684	3,084
合計		10,323	1,564	11,887

3. 植物画資料

平成7年6月	1743点（理科図集、日本椿集原画など）	二口善雄寄贈
平成14年3月	85点（植物画、自画像2点）、20冊（スケッチブック）	二口善雄寄贈



V 調査研究事業

1. 研究体制（平成16年4月1日現在）

氏名	職	担当分野・専門分野
内村 悦三	園長	森林生態学、世界のタケ類の生態と栽培、熱帯林の修復、アグロフォレストリー・システムの構築
黒川 道	顧問	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員 (企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	主任研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類（キノコ）、地域フロラ
吉田めぐみ	主任	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	主任	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	主任	植物分類学、酵素多型、タケ科
大原 隆明	主任	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	技師	植物分類学、トカラ列島フロラ、溪流沿い植物

2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

3. 平成16年度研究発表「植物園を支える研究活動(8)」(発表順) 平成17年2月6日

- ・ 山下寿之：富山県中央植物園に植栽されたウメの生物季節学的研究
- ・ 大原隆明：富山県で新たに生育が確認された植物 (8)
- ・ 中田政司：絶滅危惧種ミズネコノオとミズトラノオの染色体数
- ・ 橋屋 誠：富山県で記録されたキノコ (9)
- ・ 志内利明：アズマヤマアザミの雌性両全異株性
- ・ 高橋一臣：タケ類の葉の表皮構造
- ・ 兼本 正：沖縄島に導入された台湾ハンノキの染色体数
- ・ 神戸敏成：植物成長調整物質が中国雲南省産 *Lysinotus pauciflorus* Maxim. のカルス誘導及びカルスからの再分化に及ぼす影響
- ・ 大宮 徹：日中共同研究報告 中国雲南省のナツフジ属植物 (2)

4. 著書・論文・学会発表等

内村悦三

- ・ 竹の魅力と活用. 内村悦三 (編). pp. 217. 創森社. (2004).
- ・ 木酢・竹酢・モミ酢. (社) 農山漁村文化協会. (2004). (分担執筆).
- ・ タケと竹を活かす—タケの生態・管理と竹の利用—. 林業改良普及双書No.148. 全国林業改良普及協会. (2004).

中田政司

- ・ Chromosome numbers of *Eusteralis stellata* and *E. yatabeana* (Lamiaceae), vulnerable plants of Japan. *Journal of Phytogeography and Taxonomy* 52: 179-183. (2004). (共著).
- ・ Triploid property of *Senno* (*Lychnis senno* Siebold et Zucc., Caryophyllaceae), a traditional ornamental plant conserved in Japan. *Breeding Science* 54: 105-109. (2004). (共著).

- Somatic embryogenesis and plant regeneration from callus cultures of several species in the genus *Tricyrtis*. In Vitro Cell. Dev.- Plant 40: 274-278. (2004). (共著).
- Karyomorphology of *Incarvillea* (Bignoniaceae) and its implications in distribution and taxonomy. Bot. Journ. Linn. Soc. 144: 113-121. (2004). (共著).
- 中国大陸に日本のキクのルーツを求めて. 週刊花百科34: 18-19. (2004).
- 中国雲南省における昆明植物園との共同研究. 第4回日本植物分類学会大会シンポジウム. (2005).
- 中国産シュウカイドウ属の細胞学的研究 IV. Sect. *Platycentrum* 32種の観察結果. 第4回日本植物分類学会大会. (2005). (共同発表).

山下寿之

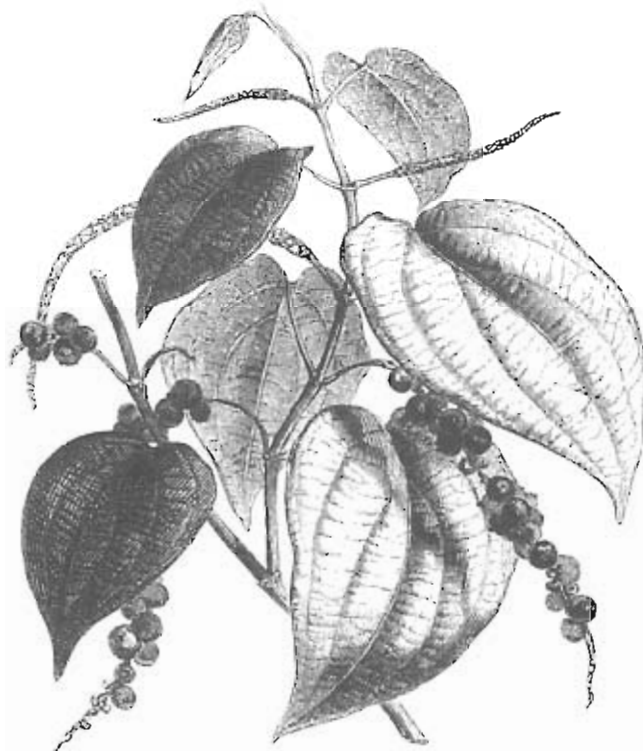
- 富山県宇波川上流部の植生. 日本生態学会第51回大会. (2004).
- 九州東・南部におけるアカガシ亜属7種の生態分布. 植生学会第9回大会. (2004). (共同発表).
- 日本海側分布北限域のスタジイ林の群落構造. 植生学会第9回大会. (2004).

神戸敏成

- Cryopreservation of immature seeds of *Bletilla striata* by vitrification. Plant Cell Rep. 23(8): 534-539. (2005). (共著).
- Triploid property of *Senno* (*Lychnis senno* Siebold et Zucc., Caryophyllaceae), a traditional ornamental plant conserved in Japan. Breeding Science 54: 105-109. (2004). (共著).
- Somatic embryogenesis and plant regeneration from callus cultures of several species in the genus *Tricyrtis*. In Vitro Cell. Dev. Bio.- Plant 40: 274-278. (2004). (共著).

大原隆明

- A new species of *Prunus* (Rosaceae) from the Tama Hills, West Tokyo, Japan. J. Jpn. Bot. : 343-349. (2004).
- 跡見学園女子大学のサクラ構内サクラガイド. 跡見学園女子大学. 第2版. (2005). (共同執筆).



VI 友の会・ボランティアの活動

1. 事業

(1) 講演会・講習会

内容	開催日	参加者数
ランの栽培講習と種苗交換会 講師：平田良雄（富山県蘭協会）	5月5日(水)	19名
クレマチスの栽培講習と種苗交換会 講師：越野淳一（中央植物園友の会ボランティア）	6月20日(日)	40
食虫植物展解説	7月25日(日)	約20
友の会植物画講習会 講師：豊田路子（フェアリーリングの会）	9月11日(土), 12日(日)	42
話題の植物“ヤーコン”収穫祭と種苗交換会 講師：高柳謙治（中央植物園友の会ボランティア）	10月10日(日)	約20
山野草の栽培講習と種苗交換会 講師：加藤利雄（中央植物園友の会ボランティア）	11月21日(日)	36
中央植物園客員研究員講義の聴講 中越信和（広島大学教授） 山口裕文（大阪府立大学教授） 岩科 司（筑波実験植物園主任研究官）	11月24日(水), 25日(木) 12月1日(水), 2日(木) 12月15日(水), 16日(木)	約20 約20 約20
クリスマスリース作り 講師：増山たか子（中央植物園友の会ボランティア）	12月12日(日)	33

(2) その他

内容	開催場所	開催日	参加数
第10回理事会	中央植物園	4月7日(水)	
第1回ドリラスコンサート ※中央植物園との共催	中央植物園	5月9日(日)	約190
友の会のつどい	中央植物園	3月13日(日)	62

2. 部会の活動

(1) 植物画部会（登録者数75名：平成17年3月31日現在）

4月18日(日) 31名	8月22日(日) 32名	1月16日(日) 33名
5月23日(日) 32名	10月17日(日) 31名	2月20日(日) 35名
6月20日(日) 40名	11月21日(日) 37名	3月20日(日) 30名
7月18日(日) 33名	12月19日(日) 30名	

例会（場所：中央植物園）

・友の会植物画講習会	中央植物園	9月11日(土), 12日(日)
・第3回ボタニカル・アート展	内山邸	7月31日(土)～8月8日(日)
・第4回ボタニカル・アート展	県民会館	3月25日(金)～3月28日(月)

(2) きのご部会（登録者数106名：平成17年3月31日現在）

開催日	場所	内容	参加数
16.6.19	中央植物園	顕微鏡観察入門講座	3
6.26	中央植物園	顕微鏡観察入門講座	6
8.1	黒部市嘉例沢	きのご観察会	21
9.5	大沢野町寺家公園	きのご観察会	17
10.3	大山町有峰	きのご観察会	24
10.31	立山町吉峰（兼きのご鍋会）	きのご観察会	33
17.1.29	中央植物園	スライド学習会	22

・友の会きのご部会写真展「森の妖精 きのご」 中央植物園 10月1日(金)～11月3日(水)

(3) 植物誌部会（登録者数48名：平成17年3月31日現在）

開催日	場所	内容	参加数
16.4.25	片貝川・布施川河口（魚津市）	定例調査会	13
5.23	伏木港・小矢部川河口（新湊市）	定例調査会	14
7.25	富山城・松川べり（富山市）	定例調査会	12
8.29	嘉例沢森林公園・鋸ヶ岳（黒部市）	定例調査会	8
9.29	つくばね森林公園（南砺市）	定例調査会	11
10.24	常願寺川沿いの水田（富山市）	定例調査会	7
11.28	婦中町自然公園（富山市）	定例調査会	13
12.26	富山市内	納会	14
17.1.23	富山県中央植物園	標本同定会	19
2.27	富山県中央植物園	標本同定会	13
3.27	薬勝寺池（小杉町）	定例調査会	18

(4) ボランティア部会（認定者数40名：平成17年3月31日現在）

活動内容	補助のべ回数	補助のべ人数
案内所（インフォメーション）		
案内所待機	72	99
見どころ作成	37	37
教育普及事業の補助		
植物園オリエンテーリング	7	26
日曜植物案内	12	23
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	2	10
夜間開園「夜の温室植物」	2	18
調査研究事業の補助		
園内の開花調査	10	20
標本管理	約40	約90
友の会活動の補助		
会報の編集	4	4
植物の栽培管理の補助		
話題の植物エリア	34	63

3. 会員数（平成16年12月31日現在）

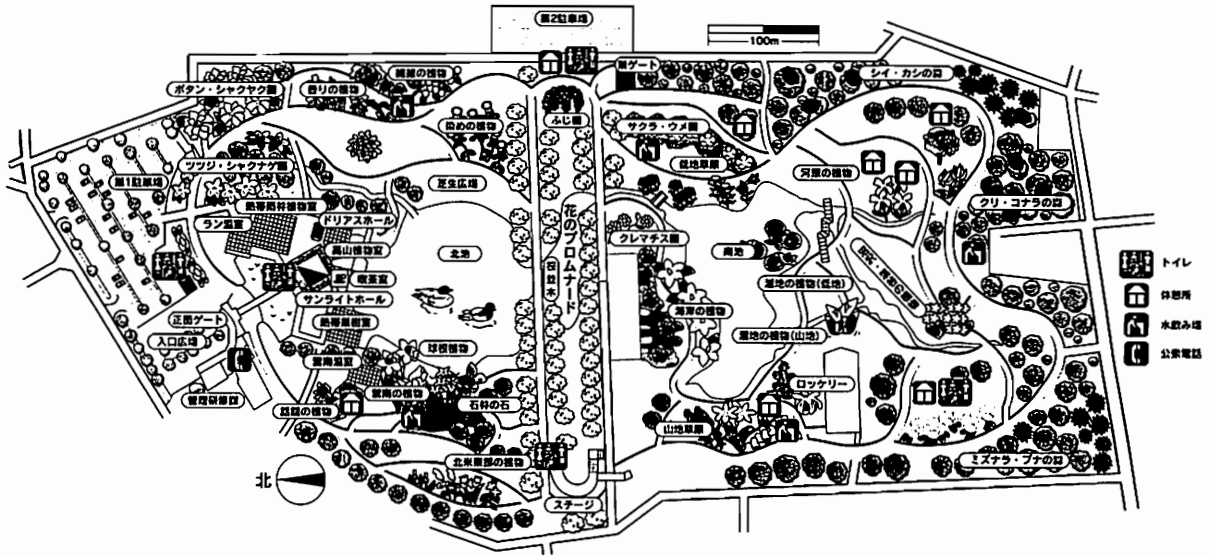
一般会員	583名
賛助会員	29名（30口）
特別会員	2名
計	614名

Ⅶ 参考資料

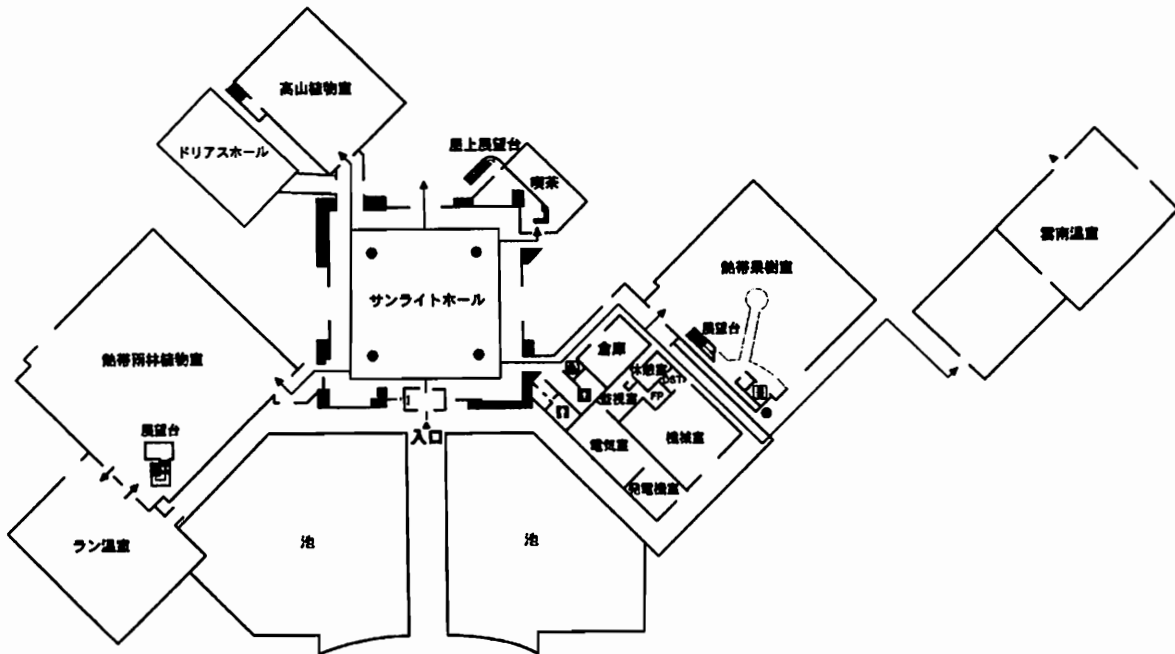
1. 施設概要（着工順）

施設	着工～完成	面積(m ²)	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路5,400m。
管理研修棟	4. 8～6. 3	1,139	園長室、植物園管理室、(助)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、標本室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4. 8～5. 1	171	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室 (5棟)	第1期 4. 8～5. 1 第2期 5. 8～6. 1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4. 8～5. 1	11,600	380台収容
第二駐車場	8. 2～8. 4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4. 8～6. 1	のべ393	5棟
サンライトホール	5. 8～6. 8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ、映像情報システム
エネルギー棟	5. 8～6. 8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室 (5棟)	第1期 5. 8～7. 1 第2期 6. 7～7.6 第3期 7. 3～8.3 第4期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300 雲南温室 (温)313 (温冷)223	
正面ゲート	7. 3～7. 9	171	
雲南コーナー	7. 9～8. 3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7. 9～8. 3		
東ゲート	7.12～8. 3	27	
ドリアスホール	14.9～15.3	155	休憩室、図書閲覧

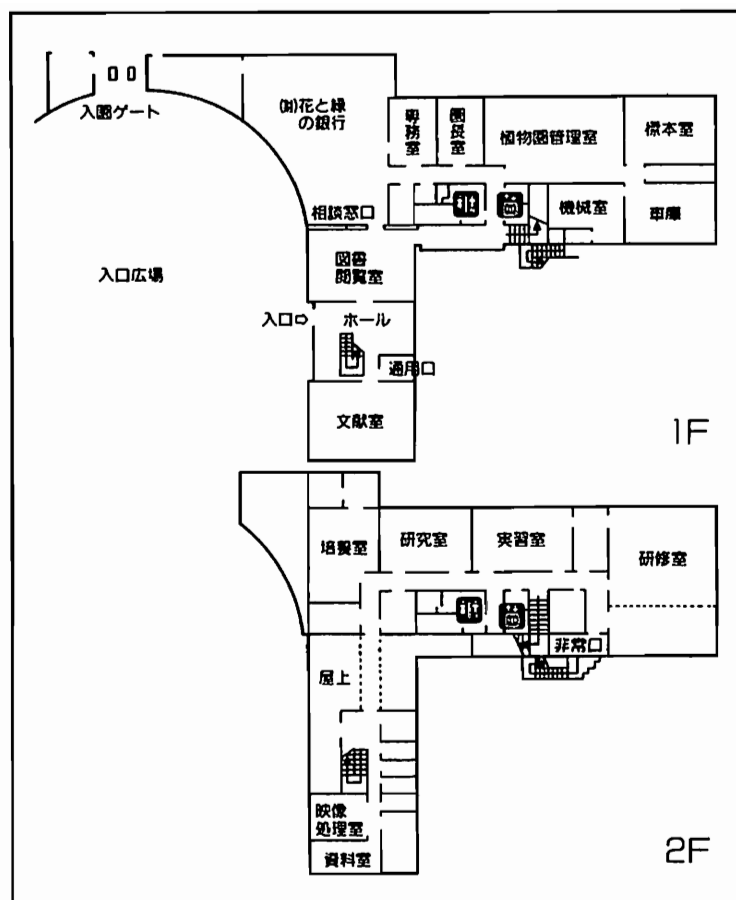
2. 施設平面図



植物園平面図



サンライツホール・温室平面図



管理研修棟平面図

3. 整備事業費

単位：百万円

区分	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計	H10~11	H14	小計	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297				297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092				2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666				666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828	*204	**40	244	4,072
備品			2	92	13		74	181				181
用地取得		977	959	32			74	2,039				2,039
雲南植物					10	3	10	23				23
石林の石						11	105	116				116
合計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242	204	40	244	9,486

*雲南温室、**多目的小ホール（ドリアスホール）

4. 利用統計

(1)平成16年度月別入園者数（有料）

区分 (月)	個人		団体		友の会	特別観覧*				合計	
	大人	小人	大人	小人		個人		団体		大人	小人
						大人	小人	大人	小人		
4	3,472	55	410	0	226	—	—	—	—	4,108	55
5	5,169	4	628	0	271	—	—	—	—	6,068	4
6	1,550	6	683	0	161	160	7	55	0	2,609	13
7	1,126	43	303	0	105	533	34	78	0	2,165	77
8	1,525	170	124	46	124	487	0	27	0	2,287	216
9	1,152	3	304	0	173	—	—	—	—	1,629	3
10	1,317	7	4,775	0	154	—	—	—	—	6,246	7
11	1,086	4	430	0	161	—	—	—	—	1,677	4
12	624	0	21	0	134	—	—	—	—	779	0
1	469	5	20	0	133	—	—	—	—	622	5
2	952	0	34	0	105	—	—	—	—	1,091	0
3	1,507	16	173	0	243	—	—	—	—	1,923	16
合計	19,949	313	4,202	46	1,990	1,200	41	160	0	31,204	400

*ゲッカビジン観賞（平成16.6.30～7.1）、夜間開園「夜の温室植物」（平成16.8.14～15）

(2)平成16年度月別入園者数（無料）

区分 (月)	減免					無料合計	
	一般 大学 高校	小学生 中学生	引率	乳幼児	その他	大人	小人
4	10,650	1,930	439	1,603	166	11,255	3,533
5	259	807	726	1,355	173	1,158	2,162
6	59	611	304	524	184	547	1,235
7	165	375	136	393	271	572	768
8	99	314	107	415	147	353	729
9	282	381	252	573	79	613	954
10	144	975	335	936	170	649	1,911
11	61	171	137	535	51	249	706
12	59	65	105	434	31	195	499
1	23	106	55	279	21	99	385
2	8,893	181	55	426	49	8,997	607
3	68	105	105	353	101	274	478
合計	20,762	6,041	2,756	7,826	1,443	24,961	13,867

(3)平成16年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	15,363	3,588	18,951
5	7,226	2,166	9,392
6	3,156	1,148	4,304
7	2,737	845	3,582
8	2,640	945	3,585
9	2,242	957	3,199
10	6,895	1,918	8,813
11	1,926	710	2,636
12	974	499	1,473
1	721	390	1,111
2	10,088	607	10,695
3	2,197	494	2,691
合計	56,165	14,267	70,432

(4)ホームページ開設後のアクセス件数（ホームページ開設：平成12年9月24日）

年度	アクセス件数
平成13年度	8,520
平成14年度	11,282
平成15年度	15,365
平成16年度	18,012

(5)平成16年度入園料減免対象団体利用状況

団体種別	のべ利用団体数	のべ利用者数
保育園・保育所	74	4,793
幼稚園	13	1,290
小学校	42	3,253
中学校	10	590
高等学校	4	202
盲・聾・養護学校	1	41
児童・生徒の校外教育活動	7	249
障害者援護施設など	28	1,196
合計	179	11,614

(6)全面開園（平成8年）後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
14	34,311	794	4,440	9,726	38,751	10,520	49,271
15	29,102	501	27,090	14,537	56,192	15,038	71,230
16	31,204	400	24,961	13,867	56,165	14,267	70,432
累計	429,378	29,094	59,046	93,432	488,424	122,526	610,950

(7)平成16年度研修室等利用団体数（人数）

年度	研修室			実習室 (研修室併用を含む)	ドリアスホール	合計
	第1	第2	第1+第2			
8	31 (1,064)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	—	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	—	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	—	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	—	58 (1,753)
12	26 (739)	5 (80)	7 (319)	5 (76)	—	41 (1,192)
13	23 (620)	11 (143)	12 (630)	5 (114)	—	48 (1,507)
14	10 (179)	4 (43)	7 (337)	1 (9)	—	22 (568)
15	3 (79)	7 (82)	1 (78)	1 (70)	69 (4,103)	81 (4,412)
16	10 (206)	4 (76)	1 (70)	1 (15)	118 (5,094)	134 (5,461)

※ドリアスホールは平成15年3月に完成。

5. 例規（平成15年10月1日現在）

● 富山県植物公園条例（抜粋）

公布 平成5年9月30日 富山県条例第54号

改正 平成8年3月27日 富山県条例第14号

平成9年3月26日 富山県条例第 3号

（目的）

第1条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

（県の責務）

第2条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

（設置）

第3条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設（以下「植物展示施設」という）と連携を図るため、富山県中央植物園（以下「中央植物園」という。）を設置する。

（位置）

第4条 中央植物園は、婦負郡婦中町に置く。

（事業）

第5条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

(1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。

(2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。

(3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。

(4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。

(5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

（入園の拒否及び制限）

第6条 知事は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

(1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。

(2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料（次条第1項において「施設等」という。）を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

（遵守事項等）

第7条 中央植物園に入園したもの（以下この条において「入園者」という。）は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。

(2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。

(3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。

(4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

（専用使用の承認）

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

（使用料）

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者（第13条において「専用使用者」という。）は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、

1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料（以下「使用料」という。）は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(管理の委託)

第14条 中央植物園の管理は、財団法人花と緑の銀行に委託する。

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 略

別表（第8条、第9条関係）

1 入園料

区 分	単 位	金 額	
		個 人	20人以上の団体
一般、大学の学生及び高等学校の生徒	1人1回	600円	480円
中学校の生徒及び小学校の児童	につき	300円	240円

備考 知事が定める期間において午後4時以後で知事が定める時刻以後に入園しようとする者に係る入園料は、1人1回につき300円の範囲内で知事が定める額とする。

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

備考

- 1 冷房又は暖房の期間中に第1研修室、第2研修室又は実習室を使用する場合の専用使用料は、この表に掲げる金額に、その額の20パーセントに相当する額を加算した額とする。
- 2 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 3 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

● 富山県植物公園条例施行規則（抜粋）

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

改正 平成14年3月20日 富山県規則第8号

（趣旨）

第1条 この規則は、富山県植物公園条例（平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（専用使用の承認申請）

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日（次条において「専用使用日」という。）の3月前から2週間前までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書（様式第1号）を知事に提出しなければならない。

（専用使用の変更等）

第3条 略

（休園日）

第4条 富山県中央植物園（以下「中央植物園」という。）の休園日は、次に掲げるとおりとする。ただし知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に休園日を定め、又は休園日に開園することができる。

（1）木曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日に当たる場合を除く。）

（2）12月28日から翌年の1月4日までの日

（開園時間等）

第5条 中央植物園の開園時間は、午前9時から午後5時まで（1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午前9時から午後4時30分まで）とする。

2 中央植物園に入園しようとする者は、午後4時30分まで（1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午後4時）までに入園しなければならない。

3 知事は、特別に必要があると認めるときは、前2項に定める時間を臨時に変更することができる。

（原状回復及び点検）

第6条 略

（施設等の汚損又は損傷の届出）

第7条 略

（細則）

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

6. 愛称とシンボルマーク

平成10年2月、公募によって決定。

愛称=ドリラス

「ドリラス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名（*Dryas*）でもある。

シンボルマーク

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



VIII 栽培記録

1. 16年度に初めて開花、結実した植物

インドキワタノキ (パンヤ科)

Bombax malabaricum DC.

中国雲南省から導入したインドキワタノキが中央植物園の雲南温室で、2月～3月に開花しました。花は直径15cmほどで、花色は鮮朱色です。熱帯雨林植物室にも植栽されている近縁のキワタノキよりも花が大きく、色鮮やかです。平成11年に雲南温室に植栽され、平成14年に一輪だけ開花しました。その後2年間開花しませんでしたでしたが、今年(平成17年)は、10輪以上開花しました(温室課 神戸敏成)。



インドキワタノキの花

バニラ (ラン科)

Vanilla planifolia G. Jackson

バニラはメキシコ南部及び西インド諸島原産の植物で、香料のバニラはあまりにも有名ですが、その原料がラン科の植物であることはあまり知られていません。果実を発酵乾燥させたものがバニラビーンズで、アイスクリームなどの香りに使われます。中央植物園では平成8年の全面オープン時以来、展示ラン温室で栽培展示してきましたが、開花には至りませんでした。平成15年に日照量が大い栽培温室へ移動させて栽培したところ、平成16年5月に初開花し、翌年3月には結実したバニラの果実が自然発酵し、甘いバニラの香りを放ちはじめました(温室課 神戸敏成)。



開花したバニラ

クダモノタマゴ (オトギリソウ科)

Garcinia xanthochymus Hook.f.ex Anderson

クダモノタマゴはインド原産の熱帯果樹です。果実は黄色に熟し、美味しそうですが、ヤニ成分が多く、また酸味が強いため生食されることはないそうです。しかし性質が強健で栽培しやすく、旺盛に生育することから熱帯果樹の女王と言われているマンゴスチンの台木として用いられています。富山県中央植物園で栽培されているクダモノタマゴは2000年に導入され、2004年11月に開花し12月に4個結実しました。強健な熱帯果樹ですので栽培は至って容易であります。強光下では葉焼けをおこし、葉先から枯れあがるので幾分日陰で栽培する方が無難です。今回結実した株は高さ1mであることから、鉢植えでも結実する可能であると考え、現在10号鉢で4株植えこみ試験中です。夏季期間(5月中旬～10月)は、50%遮光の下で、用土が乾燥しすぎないように灌水を行い、冬期間(11月～5月上旬)は、15℃以上保てる温室内に置き、用土が完全に乾いた状態となった時に灌水しています(温室課 兼本正)。



結実したクダモノタマゴの果実

モラードバナナ（バショウ科）

Musa acuminata cv. 'Morado Banana'

通常のバナナは果実の成熟とともに緑色から黄色に変わりますが、このモラードバナナは茶褐色から赤紫色へ変わります。また、葉柄も赤味を帯びているので、実がついていなくとも他のバナナとは区別できます。主にエクアドルやフィリピンで生産されており、甘さの中にほのかな酸味があり、味も優れているので、通常のバナナよりは高級品となっています。富山県中央植物園では2000年11月に熱帯果樹室に植栽され、2004年開花結実しました。生育すると高さは5mを超え、半径3mの範囲に葉を広げ、かなり大型になります。温室内では他の植物が被陰されないように位置関係を考慮して植栽する必要があります。また株周りから5本程度子株がでてきます。通常のバナナ同様子株を取出して繁殖させ、現在当園では現在高さ3m程度の子株3株、1m程度子株4株を栽培しております（温室課 兼本 正）。



赤く実ったモラードバナナ

シナユリノキ（モクレン科）

Liliodendron chinense (Hemsl.) Sarg.

北アメリカ原産のユリノキに近縁なモクレン科の落葉樹で、中国の中、南部からベトナムに分布しています。ユリノキに比べ花の色がやや暗く、花被片の縁があまり反り返らないという特徴があります。富山県中央植物園には平成5年10月に中国雲南省昆明植物研究所を通じて植物園の株に由来する実生5株を導入しました。そのうち3株を平成8年春に石林の石のあるの雲南省の植物の区画に植栽し、今年（平成16年）初めて1株だけが開花しました（展示園課 大宮 徹）。



初めて開花したシナユリノキの花



富山県中央植物園事業概要 第7号 (平成16年度)

平成17年10月31日 発行

編集兼発行：富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所：財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

印刷：大東印刷株式会社

